

## 令和4年度菊桜観察記録③里庄町歴史民俗資料館

- 西崎 康男
- 記念植樹＝令和元年12月3日
- 花の開花調査期間  
◆令和4年3月～7月

### 報告① “菊桜”の記念植樹の概要

令和元年(2019)12月3日菊桜育成保存会会員有志により里庄町の顕彰公園内の樹木医・國忠 様の指導のもとに菊桜の苗木2本を植樹しました。記念樹の為加藤泰久町長や杉本秀樹教育長もくわ入れに参加して盛大に行われました。



記念植樹 令和元年12月3日



東①



西②

## 報告② “菊桜”の植樹後の管理作業

P=2

### ①樹木の補強作業

### ②除草シートの張り替え

植付け約 ヶ月後、強風などでの倒木防止対策で、雑草除去防止のために除草シートを張る。竹3本での補強作業する。



## 報告③ “菊桜”の花弁数調査

令和4年 4 月30日 西側②の満開時の花弁数の調査を行う。

満開時の大きな花を一輪、切り取り白い厚紙に両面テープを貼りその上に花弁をピンセットで1枚・1枚ちぎって貼り付け並べる。



P=3



令和4年4月25日  
花弁数165枚



## 報告④ “菊桜”樹木の倒木(天災)

令和3年7月強風により東側の苗木の主幹が折れた。  
原因は竹3本で養生していたナイロン製紐が幹に食い込み細くこぶ状になり強風で折れた。



## 報告⑤ “菊桜”花の開花状況の調査

P=4

令和4年3月下旬ごろから新芽からつぼみ～咲き始め～満開時～  
散り始め～散り果てまでを歴史民俗資料館前は5～6人で観察する。  
観察記録表に各自が写真とその時の状況を記録表に記入する。



新芽①小さい細い芽3/27



新芽②芽が膨らむ 3/29～



つぼみ(蕾) 4/4～



咲き始め 4/7～



満開時 4/21～4/27



散り始め 5/2～



散り果て 5/20日ごろ

# 報告⑥“菊桜”の葉の生育状況調査(参考)

P=5

この度は参考資料として、菊桜の幹の成長と、葉の生育(大きさ)も調べて見ました。

## 調査①幹の大きさ

幹の太さも満開時～散り果てになるほど太くなっていった。

西側②= 主幹の太さ約10cm径

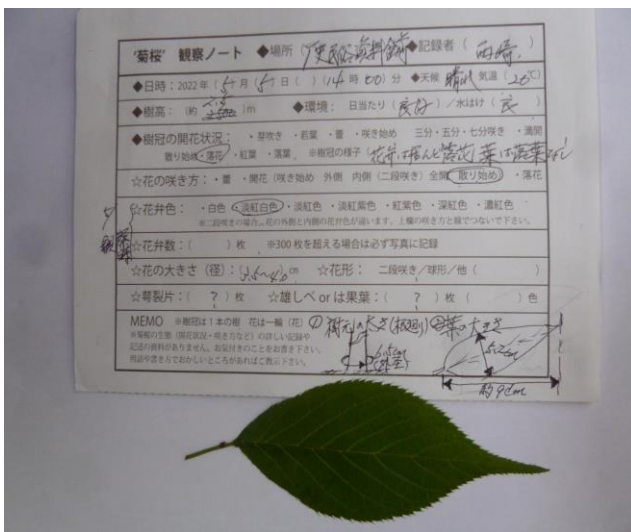


## 調査② 葉の生育調査

咲き始めの時と満開時の葉の大きさ比較するとやはり満開時の方が葉も大きく固く色も濃い



葉の測定 長さ約15~16cm



記録表



葉の生育標本(表と裏)

今回歴史民俗資料館前の菊桜育成観察は私を含め6名が担当して行いました。

観察の結果からどんな植物でも、日頃から周辺の草取りや水やりなど、関心を持ち、また愛着を持つことが大切です。

特に植樹する際には、多めの盛土と、自然の恵み、日当たりが大事であることがよくわかり、勉強になりました。

メンバーの調査票を元に私なりに花暦を作ってみました。限られたスペースにまとめた為、大まかな花暦となりましたが、一目瞭然で生育状況がわかるので、来年春も綺麗な花の開花観察を続けていきたいと思えます。













